

令和 6 年 度
事 業 報 告



社会福祉法人

塩尻市社会福祉協議会

令和6年度 事業報告概要

I 法人運営

1 社会福祉法人としての公共性の確保

- (1) すべての役職員が高い倫理感を保持し、法令及び社会規範を遵守した公益性の高い事業経営を実施しました。
- (2) 経営の透明性・中立性・公正さを確保し説明責任を果たすため、ホームページや広報誌「社協しおじり」、SNS等によるわかりやすい情報提供に努めました。
- (3) 第54回塩尻市社会福祉大会を開催。特別功労者等の表彰、被災地支援活動報告及び防災に関する講演会を行い、市民の地域福祉に関する意識啓発を図りました。
- (4) 福祉分野におけるSDGsの実践に努めました。
- (5) 所属ごとに基本方針・目標及び重点施策・事業を明確にし、効果的で効率的な事業展開を図りました。
- (6) 企画調整会議、経営戦略会議、発展強化推進委員会、グループ会議等の定期的開催により、職員参加による経営課題解決に取り組んだほか、介護保険事業所連絡会、障害福祉サービス事業所連絡会、地域福祉連絡会等で法人内外の情報共有を図りました。

2 人材の確保・育成と組織づくり

- (1) 新規採用職員研修、中堅職員研修、福祉職員生涯研修、他事業所体験研修等を実施し、法人内の人材育成を進めました。
- (2) 深刻な福祉・介護人材不足に対応するため、ハローワーク、県社協福祉人材センター等の積極的な活用や就職説明会で法人（社協）の魅力発信を行うとともに、職員採用試験の日程前倒し及び複数回実施、幅広い条件での職員募集により、人材確保に努め、10人の新規採用につながりました。
- (3) 組織を横断した発展強化推進委員会において、第3次発展・強化計画に基づく研修会を職員主体で開催。組織基盤強化の意識改革を進めました。
- (4) 大学生、高校生の実習生を積極的に受入れ、将来の福祉・介護の担い手育成に努めました。介護職員初任者研修は受講希望者が無く3年連続で開催に至らなかったため、県と連携した担い手育成の取組強化に転換を図りました。

3 法人の基盤強化

- (1) 事業の効果測定や事業評価により、効果的で効率的な経営に努めました。
- (2) 中長期計画（財政計画）に基づいた財政運営を進め、老朽化が進む施設の改修、車両の更新等を計画的に実施しました。
また、経営戦略会議において新たな「中期経営計画」の策定に取り組みました。
- (3) 昨年度策定した「防災計画」及び「業務継続計画」の職員への周知を図るとともに

に、計画に基づき大規模災害に備えた法人全体及び事業所ごとの防災訓練を実施し、危機管理体制の構築に取り組みました。

- (4) 新たに定めた「感染対策指針」に基づき「感染症対策委員会」を設置。職員及び利用者の感染症予防・防止対策の一層の徹底を図り、安心・安全な福祉・介護サービスを提供しました。

II 地域福祉の推進

1 住民とつくる福祉でまちづくりの推進

- (1) 新たに配置した総合相談マネージャーと地域福祉推進員（東部圏域）が、市と連携して包括的な相談体制の構築を検討し、全市的な重層的支援（全世代対応型支援）体制の整備を進めました。
- (2) ふれあいセンターを拠点に、圏域ごとに支部福祉懇談会や研修会等を開催。支部・分会活動を支援するとともに、地域福祉推進員と相談員が連携して住民主体の地域福祉活動による見守りと支え合い、福祉のまちづくりを進めました。
- (3) 民生児童委員や公民館をはじめ関係機関、地域団体等と連携し、住民がともに支え、支えられる見守りネットワーク体制づくりを進めました。
- (4) 講座や研修を通じた地域住民への説明、ワークショップの実施等により、本年度を初年度とする「第6次地域福祉活動計画」を推進しました。
- (5) 各種会議、補助金審査会等において、地域における今後の補助事業について意見交換、協議を行い、持続可能な事業に向けて補助金見直しの検討を進めました。

2 生活支援・権利擁護

- (1) 生活就労支援センター「まいさぼ塩尻」を窓口として、生活困窮者の早期・包括的な相談支援を進めました。
- (2) 金銭管理サービスや資金貸付により、誰もが安心して日常生活を送ることができるよう支援しました。また、生活福祉資金特例貸付対象者等の生活実態アンケート調査を実施し、フォローアップ支援を進めました。
- (3) 成年後見支援センター及び中核機関の運営により、判断能力が不十分で権利擁護の必要な人を支援する成年後見制度の利用促進を図りました。また、成年後見支援員へのフォローアップ研修や身寄り問題解決などに取り組みました。

3 ボランティア活動の振興

- (1) SNSを活用し、ボランティア活動の情報収集・発信に取り組みました。
- (2) 大規模災害等に備え、職員による災害ボランティアセンター運営訓練や災害キャンタンマップの職場内研修を実施するとともに、災害ボランティア登録を進めました。また、被災地支援として石川県の災害ボランティアセンターに職員を派遣しました。

Ⅲ 介護サービス、障害福祉サービス事業

1 利用状況

- (1) 令和6年度の介護保険事業の延利用者は、全体で59,736人となり、前年度(57,061人)と比較して104.7%、2,675人の増加となりました。
- (2) 障害福祉サービス事業の延利用者は、全体で27,067人となり、前年度(28,304人)と比較して95.6%、1,237人の減少でした。

2 要介護・要支援者の自立支援・重度化防止

- (1) 住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、利用者の意向を尊重した質の高い訪問サービス及び通所サービスを提供するとともに、介護・医療・保健・福祉などの包括的な総合相談とケアマネジメントにより、在宅生活を支援しました。
- (2) 研修による職員資質の向上を図るとともに、実習生の積極的受入れや地域及び中高生へのアプローチ、様々な機会を捉えて訪問介護の現状・魅力を説明し、福祉・介護の人材確保・育成に取り組みました。
- (3) 2040年を見据えてホームヘルパー事業の現状分析と課題の洗い出しを行い、業務改善策を検討しました。

3 障害者相談支援事業の充実

- (1) 障がい者が地域で自分らしく安心して生活できるよう、相談支援、生活介護、児童発達等支援、就労支援などのサービス提供により、障がい者を総合的に支援しました。
- (2) 塩尻・朝日・山形地域自立支援協議会で取り組んでいる「障がい者総合相談支援センター『ボイス』及び基幹相談支援センター」に相談員を派遣し、地域生活への移行・定着を支援しました。

4 施設の改修等

中長期計画(H28~R8)に基づいて計画的な車両更新及びすがのの郷の雨漏り補修工事を行ったほか、公募による市の新しい補助金を活用してすみれの丘(生活介護なすなの家)のエアコン設置・トイレ改修工事を実施しました。

Ⅳ 指定管理事業等

1 指定管理

- (1) 市の指定管理により、ふれあいセンター広丘、ふれあいセンター洗馬(洗馬児童館併設)及びふれあいセンター東部の3館について、継続して管理運営を行いました。
- (2) 地域福祉活動の拠点施設としてのふれあいセンターの機能を強化・拡充して、3館を各圏域の「福祉の総合相談窓口」に位置づけ、支部・分会活動や高齢者元気づ

くりをはじめ、地域福祉推進員等と連携して地域の活動を伴走支援しました。

- (3) 昨年に引き続き、3館共催による「ふれフェス（ふれあいセンターフェスティバル）」を開催して、ふれあいセンターの周知及び利用者拡大を図りました。
- (4) 令和6年度末で指定期間が終了するふれあいセンター広丘について、非公募により指定管理継続の申請を行い、令和7年度から5年間の指定管理候補者として市から通知を受け、市議会で決定されました。

2 受託事業（施設等）

市からの事業委託を受け、引き続き生活就労支援センター（まいさぼ塩尻）、地域活動支援センター（すみれの丘）、塩尻市西部地域包括支援センター（すがのの郷）及び成年後見中核機関（地域福祉推進センター）を運営しました。

I 総務課

(I) 総務係

(主財源：市補助金、共同募金配分金、介護保険・障害福祉サービス収入)

－事業概要－

- 理事会・評議員会等の会務の運営、職員の人事・労務管理、法人の円滑な運営
- 会員制度の運営と会費の収納、善意銀行管理、共同募金への協力
- 社協報、ホームページ等を用いた啓発及び情報発信

【 目 標 】

- 1 職員同士のつながりと働きやすい環境を整え、職員が定着して働き続けることができる組織を作ります。
- 2 会費、共同募金、寄付金等、自己財源の確保・活用について研究し、地域福祉活動により還元できる仕組みづくりを進めます。
- 3 市民に見える社協活動とするため広報活動を充実します。

【職員数】

(単位：人)

年 度	正 規	准正規・嘱託	非常勤	合 計
令和6年度	63	32	220	315
令和5年度	59	32	213	304
増 減	4	0	7	11

※常務理事、産休中の職員含む

令和7年3月31日現在

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 法人運営

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会 3回 評議員会 3回

(2) 福祉サービスの苦情解決に関する委員会

委員会 1回 苦情申出 2件 (解決2件)

(3) その他

三役会 12回 表彰審査委員会 1回

経営戦略会議 8回

- ・経営戦略会議において、現状を分析し本会が目指す姿について話し合いを重ね、中期経営計画を策定しています。

2 働きやすい組織づくり

(1) 人材育成、職員研修の実施

新規採用職員研修 6回 現場実習 1回

新規採用職員施設見学 2回 参加者9人

中堅職員研修会 3回

福祉職員生涯研修 (キャリアパス研修) 7回

(参加者：リーダー職員、管理職職員、後輩育成担当職員、中堅職員、新任職員)

- ・職層ごとの職員研修のあり方について検討を行いました。今後、管理職となることが期待される中堅職員の役割を理解し意欲向上をねらいグループワークを取り入れ研修を実施しました。今後も職層ごとの研修の充実を図り、キャリアアップの仕組みを構築していきます。

(2) 職員健康管理

衛生委員会 12回

感染症対策委員会 4回

産業医巡視 8回 (産業医：清水外科胃腸科医院 院長 清水忠博氏)

精神保健相談 10回 (相談員：精神保健福祉士 大谷庄司氏)

ストレスチェック 99人 (うち高ストレス 13人)

(3) 職員共済会活動の実施

健康診断補助 86人 (513,000円)

誕生日プレゼントの配布 193人 (393,703円)

グルメ補助 135人 (135,000円)

健康増進・身体リフレッシュ事業補助 25人 (25,000円)

入浴券 110人 (947,650円)

芸術鑑賞・スポーツ観戦補助 43人 (81,300円)

イベントエンジョイ事業補助 4団体 (70,000円)

- ・職員同士の交流を図り、仕事の疲れを癒し、意欲向上につながるよう内容を工夫し事業を実施しました。多くの会員の共済会活動の参加がありました。今後も職員に喜んでいただけるよう活動内容を検討し事業を実施していきます。

(4) 福祉人材の確保、職員採用

就職説明会参加 2回

信州介護人材誘致・定着事業を活用した福祉人材の育成、確保

ホームページ、求人受付 NAVI への就職情報の掲載

- ・様々な機会を捉え職員確保に取り組み、10人の新規職員を迎えることができました。

(5) 第3次発展・強化計画の推進

発展強化推進委員会 7回

発展強化研修会 1回

- ・令和6年度で計画期間が終了する第3次発展・強化計画のまとめを行い、今後の取り組み方等の検討を行いました。

3 自主財源の確保、活用

(1) 会費

(単位：円)

項目	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績	前年度実績増減
普通会費 (500円)	7,390,606	6,507,000	7,164,056	△226,550
特別会費 (3,000円)	79,000	69,000	51,200	△27,800
法人会費 (3,000円)	208,000	223,000	285,000	77,000

合 計	7,677,606	6,799,000	7,500,256	△177,350
-----	-----------	-----------	-----------	----------

★目標達成率：普通会費 110.1% 特別会費 74.2% 法人会費 127.8%

(2) 寄付金

(単位：件、円)

年 度	個人		団体		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和6年度	29	133,500	9	292,925	38	426,425
令和5年度	26	158,466	5	211,411	31	369,877
増 減	3	△24,966	4	81,514	7	56,548

(3) 共同募金

年 度	個人	法人	学校 職域	街頭 イベント	個人 大口	ハートフル ベンダー	その他	合計
令和6年度	10,006,549	609,000	203,321	17,129	10,000	36,230	205,849	11,088,078
令和5年度	10,545,380	646,623	225,495	17,033	0	37,722	186,242	11,658,495
増 減	△538,831	△37,623	△22,174	96	10,000	△1,492	19,607	△570,417

各年度3月31日現在

- ・振込先を記載したチラシとともに、法人会費の新規依頼を行ったところ、25件の事業所から振込がありました。今後も更に法人会費について理解をしていただき、会員になっていただけるよう取り組んでいきます。

4 広報啓発

(1) 第54回塩尻市社会福祉大会の開催

令和6年9月23日(月)午後1時 レザンホール大ホール(参加者200人)

特別功労者表彰 2人3団体 模範善行者表彰 2人2団体

社会福祉事業協力者 1人2団体

講演会 「災害時に備えた地域づくり」 長野県社会福祉協議会 山崎博之氏

活動報告 「復興に向けてボランティア力の大切さ」 羽田幸治氏

「奥能登入浴支援プロジェクトに参加して」

塩尻市社協 佐々木翼 指導専門員

(2) 地域福祉に関する啓発・情報提供

広報「社協しおじり」 4回発行

ホームページやInstagramでの情報発信

- ・第6次地域福祉活動計画を地域住民の方に知っていただくため、広報紙「社協しおじり」において計画具体化のために行われている地域の取り組みを掲載しました。

Ⅱ 地域福祉推進グループ

(Ⅰ) 地域福祉推進センター

1 地域福祉

－事業概要－

- 人としての尊厳が守られ、一人ひとりがその人らしく生きていくことができる地域づくりを地域住民とともに進めていきます。

【 目 標 】

- 1 重層的支援（全世代対応型支援）の仕組みづくりを市とともに進め、地域福祉を推進します。
- 2 センター事業を通じ、地域のネットワークづくりを行います。
- 3 地域で活躍する担い手の育成と支援に取り組みます。

【 事業実施状況 】

(単位：世帯 人、 か所)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
見守りネットワーク 見守り世帯数	3,251	3,200	3,473
高齢者元気づくり広場等 介護予防事業 延利用者数	6,416	7,000	6,502
ふれあい食事サービス事業 延利用者数	7,575	7,300	8,696
福祉協力員等数	338	345	335

★目標達成率：見守り 108.5%、元気づくり 92.9%、ふれあい食事 119.1%、福祉協力員等 97.1%

1 地域共生社会の推進（新）

(1) 重層的支援（全世代対応型支援）の体制整備づくり

- ・市総合相談マネージャーと連携した庁内の包括的な相談体制の構築検討
事務局会議 12 回、チーム会議 5 回、視察 2 か所（伊那市、滋賀県高島市）
- ・総合相談マネージャー相談対応 延べ人数 614 人
- ・地域福祉推進員（東部圏域）相談対応 延べ人数 265 人
- ・社協内出前研修の実施 14 回 146 人
- ・社協内アンケート調査実施 1 回

(2) 第 6 次地域福祉活動計画の推進（新）

- ・講座や研修を通じ地域住民への活動計画の説明、ワークショップ等の実施
- ・地域福祉活動計画と各事業所の計画・重点施策をリンクさせた目標推進

2 補助事業の検討（改）

- ・各種会議、補助金審査会等にて今後の補助事業に向けての意見交換、協議

3 社会（地域）貢献活動の支援

- ・企業の社会貢献活動の取り組みをまとめた活動事例集を発行・配布
- ・企業の社会貢献活動コーディネート件数4件

4 支部・分会支援

- ・ふれあいセンターと連携し、個別支援・地域支援の実施

【評価、今後の方向性】

・重層的支援（全世代対応型支援）事業は、令和7年度からの本格実施に向け、市と定期的な検討を重ねました。各圏域に地域福祉推進員が配置されるため、円滑に事業実施ができるよう、住民や関係機関に周知を図っていきます。

・補助事業の実施にあたり、物価高騰の影響から支部・分会の皆さんから事業継続の難しさ、また財源確保に向けたご意見をいただきました。令和7年度、8年度は配分内容や補助額等を地域の方のご意見を踏まえ時代に合った形のものに変え、持続可能な補助事業となるよう更に検討します。

2 生活支援

（1）生活困窮者相談支援（主財源：会費、市受託金）

－事業概要－

- 誰もが地域社会の一員として尊厳をもった生活を送ることができるよう、生活をしていくうえで困難な課題を抱える相談者の状況に応じ、支援事業とセーフティネット関連事業の一体的な実施により、最適な支援策を早期・包括的に提供します。

【 目 標 】

- 1 「生活困窮者の自立と尊厳の確保」、「生活困窮者支援を通じた地域づくり」に取り組みます。
- 2 複雑化、世帯全体に関わる生活相談の増加に伴い、市や関係機関と連携しながら包括的な支援をします。

【 事業実施状況 】

生活困窮者自立支援

（単位：件）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
新規相談件数	186	120	109
自立支援計画 作成件数	30	30	45

家計改善支援

(単位：件)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
新規相談件数	4	4	5
家計改善支援 計画作成件数	6	4	18

★目標達成状況：新規相談 91%、自立支援計画 150%、家計新規 125%、
家計改善計画 450%

1 貸付事業との連携（特例貸付免除者支援）

- ・生活実態アンケート調査実施 113 人
- ・アンケート後のフォローアップ実施 9 人

2 家計改善支援

- ・伴走支援により家計が改善し支援が終了した者 5 人

【評価・今後の方向性】

- ・研修により、法に基づく相談支援機関として適切に判断し、手続きを行えるよう相談支援員の質のスキルアップに努めました。結果、丁寧なプラン策定ができ策定件数の大幅増に繋がりました。
- ・令和 7 年の居住支援に関する法律改正を受け、市と協議しながら支援に取り組みます。

(2) 資金貸付（主財源：会費、県社協補助金）

—事業概要—

- 低所得世帯等の生活を経済的に支えると同時に、生活意欲の助長促進のため、関係機関と連携し在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活に繋がります。

【 目 標 】

- 1 関係機関と連携し生活再建ができるよう支援します。
- 2 貸し付けを通じ生活実態を把握し、個々の困りごとに寄り添います。

【事業実施状況】

(単位：件)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
生活福祉資金貸付件数	5	10	6
コロナ特例貸付フォローアップ対応件数	148	200	439
くらしの資金貸付件数	38	40	68

★目標達成率：生活福祉資金貸付 60%、特例貸付 220%、くらしの資金貸付 170%

【評価・今後の方向性】

- ・県社協の補助金を活用し専従の貸付相談員を常勤で配置したことにより、貸し付けを通じ個々の生活実態の把握や、生活再建に向けた伴走支援が可能となりました。
- ・くらしの資金貸付における長期滞納者へのアプローチ（償還残額の通知や架電等）を丁寧に行ったところ、償還金額が前年度比 400%増（5万4000円から約21万円）となっています。

（3）成年後見支援センター（主財源：会費、市補助金、市受託金）

－事業概要－

- 認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人及び将来の判断能力の低下に備えたい人が、成年後見制度を的確に利用できるような支援を行います。
- 権利を尊重し擁護することにより、地域で安心して暮らすことができるよう成年後見制度の利用促進を図ります。

【 目 標 】

- 1 成年後見支援センターが地域の相談窓口として認知されるよう広報啓発を進めます。
- 2 必要とする人が成年後見制度を効果的に活用できるよう相談に応じます。
- 3 市民後見人養成講座受講生のフォローアップや法人後見支援員としての業務を通し、市民後見人の育成に取り組みます。

【 事業実施状況】

（単位：件）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
成年後見相談支援件数	115	200	169
法人後見受任件数	19	25	19

★目標達成率：成年後見相談支援件数 84.5%、法人後見受任件数 76%

1 担い手の育成

- ・昨年度成年後見支援員として活動していた者1人が、塩尻市社協とともに複数後見人として選任され活動を開始
- ・成年後見支援員として2人活動中

2 身寄り問題に対する取り組み

- ・市内の地域包括支援センター、医療機関の関係者と意見交換会を開催

3 広報活動の実施

- ・成年後見支援センターのパンフレットを更新し、市内介護保険事業所、医療機関（10か所）へパンフレットを配布

【評価・今後の方向性】

- ・成年後見支援員に対し、定期的なフォローアップ研修を実施するとともに、専門職を含めた支援会議への参加を通してスキルの向上を図り、将来市民後見人として活動していただけるよう支援します。
- ・身寄り問題に関する意見交換で出された優先度の高い課題に対し、行政と連携・協議しながら仕組みづくりを進め、当事者及び支援者にとって有益な事業、サービスが生み出せるよう研究します。

(4) 日常生活自立支援事業（主財源：県社協受託金）

くらしのあんしんサービス事業（主財源：市社協）

－事業概要－

- 判断能力の不十分な人が地域で安心して生活できるよう、日常生活を営む上での課題について相談を受け、必要に応じて金銭管理サービスなどを行います。

【 目 標 】

自立支援や金銭管理サービス、家計支援等を通し、個人の尊厳と意思が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現を目指します。

【 事業実施状況】

（単位：件）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
日常生活自立支援事業 利用件数	49	55	52
くらしのあんしん サービス利用件数	12	16	14

※管内社協（朝日村）の利用者含む

★目標達成率：日常生活自立支援 95%、くらしのあんしんサービス 87.5%

【評価・今後の方向性】

- ・地域の権利擁護ネットワークを高め、制度を活用しなくても支えられながら暮らすことのできる地域を目指します。
- ・自立相談支援機関やボランティアセンター等、地域福祉推進センター内の他事業と連携し、個別支援から地域づくりを進めます。

3 ボランティア

(1) ボランティアセンター（主財源：会費、市補助金）

－事業概要－

- 福祉活動への理解を促進し、地域の中で支え手のすそ野を広げます。
また、福祉活動に参画できる機会につなげるなどを通してボランティアの育成や活動の支援、福祉学習を行います。
- 災害ボランティアや災害ボランティアセンターの役割、必要性を広く住民に周知し、災害発生時には主体的に活動できるボランティアの育成を行います。

【 目 標 】

- 1 ボランティアへの関心を高めるため、情報の収集や発信をタイムリーに行い、活動を後押しします。
- 2 災害発生時、速やかに支援体制の構築ができるよう、ボランティアや協力団体と日ごろから連携し有事に備えます。
- 3 公民館等社会教育機関と共に、福祉教育を進めます。

【 事業実施状況 】

（単位：人）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
貸館利用者数	3,925	3,000	3,519
ボランティア登録者数	7,198	7,000	7,007
ボランティア講座 参加者数	96	200	176

★目標達成率：貸館利用 117.3%、ボラ登録者 100.1%、ボラ講座参加者 88%

1 ボランティア情報の発信

- ・ボランティア相談数 395 件（前年度比+88 件）
- ・ボランティアセンター公式 LINE 友達登録者 343 人（前年度比+63 人）、
ボランティア情報発信 59 回（前年度比△9 回）
- ・インスタグラムでのボランティア活動や情報発信 15 件（前年度比+3）

2 災害時の対応

- ・石川県の災害ボランティアセンターに職員を派遣 1 人
- ・職員向け災害ボランティアセンター運営研修の実施 1 回
- ・災害ボランティア登録（団体 4,759 人、個人 23 人）
- ・災害カンタンマップの職場内研修の実施 1 回

【評価・今後の方向性】

- ・市教育委員会と連携し、不登校児の居場所づくり支援やキャリア教育の推進に取り組みました。
- ・今後は重層的支援（全世代対応型支援）事業担当と連携し、個別課題と地域課題の両方の視点から、居場所づくり支援や地域の担い手育成を目指した取り組みを企画・実施します。

（２）障害者にやさしいまちづくり（主財源：市受託金）

－事業概要－

- 障がい者への理解を深め、福祉のまちづくりを進めるために奉仕員の養成を行います。

【 目 標 】

ボランティアの学びの場をつくり、活動を後押しします。

【 事業実施状況】

（単位：人）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
奉仕員養成講座参加者数	1,033	1,204	1,260

★目標達成率：104.7%

【評価・今後の方向性】

- ・講座の周知に力を入れたことにより、特に子育て世代の講座参加が増え、奉仕員のすそ野を広げることができています。
- ・市と連携し、養成講座終了後の受講生が更に学び、ステップアップする環境をつくり、奉仕員の活動のみならず幅広くボランティア活動に参加できるしくみづくりを行います。

（３）送迎サービス支援（主財源：会費）

－事業概要－

- 移動困難な高齢者や障がい者等の生活圏の拡大を支援します。

【 目 標 】

- 1 送迎サービスの周知と拡充を図ります。
- 2 協力会員を増やし、利用しやすいサービスづくりをします。

【 事業実施状況】

（単位：人）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
利用者数	597	500	185

★目標達成率：37%

※大幅な実績減の理由は、運転手不足により8月から新規契約を停止していること、また今年度から実績のカウント方法を変更したことによるものです。

1 協力会員増加に向けた取り組み

- ・協力会員の確保に向け、広報しおじりに募集記事を掲載
- ・送迎サービス運転ボランティア説明会の実施1回

【評価・今後の方向性】

有償サービス事業「しおりんお助け隊」との事業合同の可能性を検討していきます。

(4) 福祉自動車運行（主財源：共同募金）

－事業概要－

- 高齢や障がい等で移動が困難な人に、車椅子用福祉自動車を貸出します。

【 目 標 】

周知を行い、利用される方の社会参加の増進を図ります。

【 事業実施状況 】

（単位：件）

区 分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
福祉自動車 利用件数	138	130	166

★目標達成率：127.7%

【評価、今後の方向性】

通院時のみならず、余暇活動での外出等でも利用ができることを周知し、多くの人の生活幸福度が向上する柔軟な福祉自動車の貸出を模索します。

(Ⅱ) ふれあいセンター（3館共通）

(1) 支部・分会支援（主財源：市補助金、会費、介護保険・障害福祉サービス収入）

－事業概要－

- 社協支部・分会を中心に住民主体の地域福祉活動を支援します。

【 目 標 】

- 1 支部・分会活動を支援します。

【事業実施状況】

1 支部・分会活動の支援

- (1) 支部分会役員等研修会を開催（改） 3回（西部圏域、北部圏域、東部圏域）
- (2) 支部福祉懇談会を開催 9回
(西部3支部97人、北部3支部84人、東部3支部98人)
- (3) 社協会費、ボランティア保険、補助金等の受付

【評価、今後の方向性】

- ・支部分会役員等研修会は、地域課題の現状を共有し社協の体制について圏域ごとに開催。わかりやすかったと評価をいただきました。来年度も圏域ごと、それぞれ圏域のあった内容で行います。
- ・支部福祉懇談会ではグループワークなどを行い各地区の課題について共有ができました。分会ごとに課題や状況が異なる中で、課題の共有にとどまらず、できることから解決に向けて話し合い、地域住民による取り組みを支援します。
- ・持続可能な地域活動ができるように担い手の育成等、活動の在り方を検討します。

(2) 高齢者元気づくり（主財源：市受託金）

－事業概要－

- 住民の介護予防と孤立の防止に向け、地域で行われている自発的な活動に、高齢者が自ら参加し、健康づくり・仲間づくりができるよう支援します。

ふれあいセンターで実施している講座等を利用し、高齢者の活動や交流の場を提供するとともに、役員の負担軽減を検討します。

【 目 標 】

- 1 地域の人とつながり、生きがいづくり・介護予防に取り組みます。
- 2 地域での介護予防活動を支える担い手を育成します。
- 3 元気づくり広場の今後について検討します。

【事業実施状況】

(単位：か所、回、人)

区分	R5 年度実績	R6 年度実績
支援か所数 (支部+分会)	58 支部 1 分会 57	63 支部 1 分会 62
支援回数	284	312
参加者数	6,178	6,899

★目標達成率：支援か所数 106.9% 支援回数 109.9% 参加者数 111.7%

- ・介護予防を支える担い手育成
地域で活かせるレクリエーション教室 第1回 14人 第2回 28人
- ・民生児童委員地域福祉部会
レクリエーション研修 第1回 27人 第2回 25人
- ・お便りの発行
「お元気ですか」 3回 6,829部
- ・支援員会議：2回/毎月 レクリエーション教室、打合せ相談随時

【評価・今後の方向性】

- ・支援か所数、支援回数、参加者数全てが増加しました。
- ・3圏域のふれあいセンター支援員が情報共有・連携、必要に応じ圏域外の支援も実施、適切な対応ができました。
- ・新規講師、特技ボランティアを登録、地元の個人・団体の特技等披露の場にもなりプログラムの充実を図ることができました。
- ・課題のある方の相談をセンター職員、専門機関に結びました。
- ・計画相談、事務手続き等で来所する方が増えてきました。更にセンターがより身近になるよう努めていきます。
- ・担当者だけではなく、センター職員も地域に出向き協力者・参加者と関わる機会を持ちました。今後も各分会に合わせた支援をしていきます。

(3) 有償福祉サービス (主財源：利用料収入)

有償福祉サービス事業の実施

(単位：人、回、時間、件)

	R6 年度市全体 (前年度実績)	R6 年度 北部圏域	R6 年度 西部圏域	R6 年度 東部圏域
サポーター登録人数	68 (66)	34	20	14
延活動人数	266 (137)	166	55	45
活動時間	333 (205.5)	198	74	61
新規相談	49 (29)	23	14	12
新規利用登録	17 (14)	6	9	2

(活動内容：草取り、室内掃除、ゴミ出し、買い物、話し相手、料理など)

- ・しおりんサポーター連絡会 2回 参加者：20人
- ・サポータースキルアップ講座 2回 参加者：20人
- ・福祉サポーター養成講座、ボランティアの集いにて有償サービス活動紹介

【評価・今後の方向性】

- ・有償福祉サービスだけでなく公的サービス、地域での支え合いの仕組み、地域の資源など、それぞれの課題を整理するとともに強みを生かして持続可能な生活支援の仕組みを検討します。

(Ⅲ) ふれあいセンター洗馬

1 ふれあいセンター洗馬 (主財源：市指定管理料)

―事業概要―

- 西部圏域（洗馬・宗賀・檜川地区）の地域福祉活動拠点施設として、子どもから高齢者まで幅広い年代層に広くふれあいの場を提供し、交流を促進します。

【 目 標 】

- 1 住民同士のふれあいの場を提供し、交流を促進します。
- 2 地域福祉活動の拠点施設として市民の活動を支援し、福祉の相談窓口として市民を支援します。
- 3 洗馬児童館と連携協力し世代間交流に取り組みます。
- 4 住民同士の支え合いを支援します。

【利用状況】

- ・開所日数：304日
 - ・登録者数：7,268人
 - ・延利用者数：15,454人（1日50人）
- （単位：人）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	17,857	18,000	19,135

延利用人数	団体	個人	地区講座	介護予防	その他講座	計
令和6年度	1,934	15,454	690	547	510	19,135
令和5年度	1,856	14,158	725	621	497	17,857
増減	78	1,296	△35	△74	13	1,278

★目標達成率：106% 前年度比 7.1%増

【事業実施状況】

1 利用者の福祉の増進

(1) 講座の開催

- ・地区講座の開催 6グループ 72回 690人
- ・介護予防講座の開催 4講座 40回 547人

(2) 福祉関係団体等への会場提供 127回

(3) バス運行业務 121回

(4) 地域交流事業

- ・ふれフェス（ふれあいセンターフェスティバル） 1回 171人（3ふれあいセンター共催事業）
- ・クリスマスコンサート 1回 145人

2 西部圏域の地域福祉活動の推進・ネットワークの構築

(1) 総合相談事業 延 5,496 件 (単位：件)

相談区分	福祉	ボランティア	有償サービス	福祉教育	地域支援	介護	健康
件数	1,276	383	110	46	581	28	3,072

相談形式	来所	電話	訪問	会議	講座・イベント
件数	3,426	1,896	265	328	48

(2) 相談体制の整備

- ・地域福祉推進員等連絡会議 12 回
- ・有償サービス事業打合せ会議 12 回
- ・西部包括支援センター・CSW 会議 10 回
- ・全世代対応型支援体制検討チーム事務局会議 8 回
- ・重層事業支援会議 5 回
- ・不登校支援に関する情報交換会 1 回
- ・シニアに関する庁内情報交換会 2 回

(3) 講座の開催

ふれあい講座

- ・ほう葉巻きづくり (1 回 16 人) ・男性料理教室 (1 回 8 人)

地域福祉力アップ講座

- ・リビングウィル講座 (1 回 44 人) ・健康麻雀教室 (1 回 34 人)
- ・タッチケアセラピー (1 回 11 人) ・蕎麦打ち教室 (1 回 24 人)
- ・シニアいきいき健康教室 (1 回 15 人) ・おやき教室 (1 回 22 人)

(4) 西部圏域福祉ネットワークの構築

- ・区長理事会への参加 1 回
- ・区長会長会民協会長会情報交換会 1 回
- ・民生児童委員協議会地区会への参加
(洗馬地区 4 回、宗賀地区 7 回、檜川地区 3 回)
- ・西部圏域の住民活動の支援
関所亭活動支援 15 回
(季節ワークショップ、開所 1 周年記念会、駅前公園の会総会、補助金取得支援)
- 木曾平沢空き家見学会 2 回
- 市と連携した空き家対策に関する検討会 2 回
- LOCAL NIGHT PICNIC ボランティア支援

(5) 地域包括ケアシステムの推進

- ・洗馬地区地域ケア推進会議 1 回
- ・宗賀地区対話集会 1 回
- ・地域共生推進課との打ち合わせ 9 回

(6) 社協支部・分会等との連携

- ・社協支部分会役員研修会 1 回

- ・社協支部総会（宗賀、洗馬、檜川）3回
- ・社協支部福祉懇談会（宗賀、洗馬、檜川）3回
- ・支所長との打ち合わせ 10回
- ・公民館連携行事（宗賀、洗馬、中央公民館） 9回
- ・洗馬子育てサロン支援（10回 延 205人）
- ・元気づくり広場参加（床尾分会1回、奈良井コスモス会1回、
贄川たんぽぽの会1回、平出分会1回、吉田2区1回、上田分会1回）
- ・洗馬支部情報誌「ちょっとひと休み」発行支援 4回
- ・洗馬支部移動支援情報誌発行支援 1回
- ・太田分会総会参加 1回
- ・太田区楽老会支援 2回
- ・奈良井ラボ参加 1回
- ・牧野分会コンサート開催支援 1回

（7）福祉教育の推進

①西部圏域支援

宗賀小学校	4回	洗馬小学校	1回
塩尻西部中学校	10回	檜川小中学校	6回
洗馬児童館	こども福祉教室	2回	32人

②その他支援

- ・サマースクールふくし講座 1回
- ・中高生の部屋 8回
- ・共創共学プラットフォーム 3回
- ・消費生活の会研修会講師 1回
- ・支所長研修会講師 1回
- ・室内レク講座 13回

（8）行政と連携した交通課題解決のための事業

- ・すがのの郷と連携した買い物支援「昼市」1回
- ・交通課題検討チーム 10回
- ・移動支援学習会開催 1回
- ・洗馬支部移動支援サービス検討会 7回 実証運行 5回 17人

（9）地域福祉活動計画の推進

- ・地域福祉計画及び地域福祉活動計画推進チーム会議 7回
- ・まちやぐらしみんなの語り場 i n 洗馬 3回 54人

（10）洗馬お元気食堂の開催

- ・4回 延べ参加者：76人

3 世代間交流の推進

- ・ふれフェス（3ふれあいセンター共催行事） 1回
- ・クリスマスコンサート 1回

4 職員研修の実施

- ・社協職員研修 社協発展強化研修、新規採用職員研修、決算経理研修、
重層的支援体制整備事業について、松本ブロック社協職員研修

- ・外部研修 コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修、社会福祉士実習指導者研修、自治会活性化研究会、上田市豊殿地区まちづくり協議会視察、生涯学習センターゆるつな講座

【評価・今後の方向性】

- ・利用人数は、全体では前年度7.1%増となりました。団体利用、個人利用が増え、入浴利用者は増。支部分会支援、元気づくり事業が圏域に移管したことで地域の役員等の来所が増えました。地域活動につながる講座の実施や世代間交流の事業を進めました。
- ・ふれあいセンターを広く周知し、活用していただくために「ふれフェス」の実施や、SNSの活用・ホームページの改善、更新により情報発信しました。また、センター内の講座やイベントの運営に学生やシニア世代を巻き込む工夫をしたことで、地域福祉に対する住民意識が高まりました。
- ・民協地区会への参加や、市営団地訪問等のアウトリーチによって、生活課題が深刻化している世帯を発見し、全世代対応型支援体制検討チームを活用した支援ネットワークの構築につなげました。
- ・洗馬支部での交通課題検討や、宗賀支部でのふれあい食事サービス事業の検討、檜川地区での空き家問題等、各地区のニーズに合わせた協議の場を設定することで、地域課題解決への住民意識が高まりました。洗馬支部では実際に住民主体の移動支援サービス運行が始まり、宗賀支部では支部事業の見直しが行われ、檜川支部の贅川では空き家を活用したコミュニティ拠点にて地域福祉活動が活発に実施されるようになりました。これらの取り組みが持続可能な活動となるよう、他機関連携を図りながら伴走支援を継続します。

2 洗馬児童館（主財源：市指定管理料）

－事業概要－

- 児童館の運営と放課後児童クラブ、放課後キッズクラブの運営
- 子育て中の母親等の情報交換の場、子育てサークルの場、就学前の親子交流の場として活用し、保護者の子育てに関する相談業務

【 目 標 】

- 1 安心、安全な子どもの居場所になるよう放課後の遊び及び生活を支援し、児童の自立支援を目指します。
- 2 地域に開かれた施設づくりを行い、児童館をPRします。
- 3 児童の遊び及び生活の援助と、地域における子育て家庭の支援を行います。

【利用状況】

- ・開所日数： 289日 ・登録者数： 95人
- ・延利用者数： 14,396人（1日 49人）

区分	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
児童館	527	450	468
児童クラブ	10,231	10,300	13,928

児童館

延利用人数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	計
令和6年度	122	243	2	0	101	468
令和5年度	110	92	18	0	107	527
増減	12	△49	△16	0	△6	△59

児童クラブ

延利用人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
令和6年度	4,924	3,311	2,296	2,473	63	861	13,928
令和5年度	3,427	2,795	2,566	183	1,260	0	10,231
比較	1,497	516	△49	2,290	△1,197	861	3,697

★目標達成率：児童館 104, 0% 児童クラブ 135, 2%

【事業実施状況】

1 児童館

(1) 子育て支援

- ・つどいの広場（10回）

新年度の始まった4月は、1年生の下校が早いためと、夏休み期間中の8月は実施できなかったが、他の月は1回計画し、45組98人の親子が参加

(2) 地域・関係機関との連携

- ・地域教育協議会への参加 (2回)
- ・小学校運営協議会への参加 (4回)
- ・小学校の先生方の児童館訪問 (延28人)
- ・教頭先生や担任の先生との情報共有 (25回)
- ・民生児童委員との情報共有 (2回)

2 放課後児童クラブ・放課後キッズクラブ

(1) 放課後等児童健全育成事業

- ・避難訓練 (4回 参加者:109人)
内容:避難経路確認と災害時の安全な身の守り方
小学校から児童館までの道路の安全確認
- ・児童の計画によるお楽しみ会 (2回 107人)
- ・お話し会 (12回 409人)
- ・七夕会 (75人)
- ・子ども福祉教室 (2回 38人)
- ・赤い羽根共同募金箱作りのワークショップ (1回 15人)
- ・クリスマス会 (1回 74人)
- ・洗馬地区文化祭作品展示 (93人)
- ・ご意見箱の設置 (常時)

(2) 要支援児童の早期発見と関係機関との連携

- ・入学前に、子ども未来課相談員や小学校職員、保育園職員との支援会議
- ・小学校職員との懇談や情報共有
- ・保護者からの相談 延42件

(3) 放課後児童クラブ保護者会事業への支援(放課後キッズクラブ含む)

- ・保護者会事業計画・保護者会作業 (各家庭の都合の良い日に1回実施)

(4) 世代間交流

- ・クリア洗馬の利用者との交流 (1回 44人)
- ・ふれあいセンター洗馬クリスマスコンサートで歌の発表 (7人)
- ・ふれあいセンター洗馬講座受講者との交流 (1回 36人)
- ・ふれあいセンター洗馬「ふれフェス」にて、キラキラぬり絵コーナーの担当 (63人)

【評価、今後の方向性】

- ・保育園、小学校等関係機関、洗馬地区民生児童委員や住民、ふれあいセンター洗馬と連携して、地域全体で育児を支援します。
- ・要支援児童の早期発見に努め、家庭、関係機関と連携して支援します。
- ・放課後児童クラブ保護者会事業への支援を行い、保護者との連携をとっていきます。
- ・様々な感染症予防対策に努め、安全に十分留意して行事を計画し実施していきます。
- ・保護者からの要望を基に、安全安心な施設となるよう努めていきます。今後も利用者のニーズに沿えるよう取り組みを続けていきます。

(IV) ふれあいセンター広丘

1 ふれあいセンター広丘（主財源：市指定管理料）

—事業概要—

- 北部圏域（高出・片丘・広丘・吉田地区）の地域福祉活動拠点施設として、子どもから高齢者まで幅広い年齢層に広くふれあいの場を提供し、交流を促進します。

【 目 標 】

- 1 住民同士のふれあいの場を提供し、交流を促進します。
- 2 地域福祉活動の拠点施設として市民の活動を支援します。
- 3 介護予防・認知症対策の取り組みを進めます。
- 4 福祉の総合相談窓口として市民を支援します。

【利用状況】

- ・開所日数：304日 ・登録者数：5,860人・延利用者数：43,791人（1日144.0人）
（単位：人）

区分	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
延利用者数	36,212	35,500	43,791

延利用人数	団体	個人	介護予 防講座	地区 講座	健康運 動教室	その他 の講座	合計
令和6年度	9,557	31,142	963	805	1,103	221	43,791
令和5年度	7,081	26,095	861	790	1,068	317	36,212
増減	2,476	5,047	102	15	35	△96	7,579

- ★目標達成率：123.3% 延利用者数 前年度比20.9%増

【事業実施状況】

1 利用者の福祉の増進

(1) 講座の開催

- ・地区講座の開催 延72回 参加者：延805人
- ・介護予防講座の開催 延60回 参加者：延966人

(2) 福祉関係団体に会場を提供 延747団体 9,531人

(3) 講座受講者、団体利用者の送迎バス運行 延171回 1,670人

(4) 利用者からの意見・要望の把握

- ・ご意見箱の設置等意見の聞き取り

(5) 地域交流事業の実施

- ・ふれフェス（ふれあいフェスティバル） 1回 157人（3ふれあいセンター共催事業）

- ・ふれひろ 10 年目感謝祭 1 回 235 人
- (6) 交流の場を企画(改)
 - ・ふれひろハッピーアワー 12 回 182 人
 - ・若い世代の居場所 6 回 27 人 (ボランティア 7 人含)

2 北部圏域の地域福祉活動の推進・ネットワークの構築

(1) 総合相談事業 延 6,023 件 (健康相談除く) (単位: 件)

相談区分	福祉	ボランティア	有償サービス	福祉教育	地域支援	介護	健康
件数	485	43	262	84	134	12	5,003

(単位: 件)

相談形式	来所	電話	訪問	会議	研修	講座・イベント
件数	255	405	172	134	14	40

(2) 相談体制の整備

- ・地域福祉推進員等連絡会議 12 回
- ・地域包括ケア推進協議会 1 回
- ・生活支援コーディネーター、包括支援センター打合せ 6 回
- ・全世代対応型支援体制検討チーム事務局会議 12 回

(3) 講座の開催

- ・地域支え合い講座「障がいて何だろう」 11 人
- 「知って安心! 家庭の医学」 9 人

(4) 北部圏域福祉ネットワークの構築

- ・支部総会への参加 3 回 (3 地区)
- ・民生児童委員協議会地区会への参加 10 回
(吉田地区 2 回 片丘地区 4 回 高出地区 2 回 広丘地区 2 回)
- ・高出地区支え合い推進会議 1 回
- ・高出二区支え合い推進事業特別委員会 6 回
- ・片丘地域包括ケア学習会 2 回、懇談会 1 回、ふり返り座談会 1 回
- ・吉田地区対話集会 1 回
- ・吉田 1 区役員研修会 2 回
- ・分会役員研修会 (野村分会 1 回、吉田 5 区分会 1 回)
- ・野村分会総会 1 回
- ・高出 1 区役員研修会 1 回
- ・塩尻東民生児童委員視察 1 回

(5) 住民福祉活動の支援

- ・吉田東公民館 おさがり会 3 回、カレー大作戦 4 回
- ・オレンジリボンフェスタ 1 回

(6) 福祉学習の推進

①北部圏域支援

- 桔梗小学校 4 回

広丘小	1回
広陵中学校	13回
丘中学校	1回

②その他支援

- ・中央公民館サマースクール 1回

(7) 災害対策事業

- ・防災倉庫備蓄品確認・補充（高出5区合同） 1回

(8) 交通課題解決の取り組み

- ・交通課題解決検討チーム会議 9回
- ・長野市視察 1回
- ・移動支援学習会 1回

3 介護予防・認知症対策の推進

(1) 介護予防認知症対策講座

- ・健康寿命のびのび講座 3回 延 103人
- ・運動による介護予防講座 12グループ 延 1,103人
- ・運動教室フォローアップ講座 1回 20人

(2) 認知症サポートセンター

- ・認知症専門家による初期相談 24回 延 9件
- ・認知症サポーター養成講座 14回 延 91人
- ・オレンジカフェ 24回 延 337人
- ・アルツハイマー月間への取り組み（認知症啓発コーナー設置）
- ・認知症地域支援推進員会議 6回
- ・チームオレンジ北部ステップアップ講座修了者意見交換会 1回 20人
- ・北小野公民館・ふれあいセンター東部共催認知症学習会にて事例報告 1回

4 職員研修の実施

- ・職場内研修（社協の役割、待遇、感染症、地域福祉活動計画・補助事業等地域福祉、財務、利用者対応等）
- ・社協職員研修（新人研修、中堅職員研修、発展強化研修、チームリーダー課程研修、防災・地域等松本ブロック研修）
- ・外部研修（認知症地域支援推進員研修、待遇研修、コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修、地域共生社会・地域づくり研修、キャラバンメイト情報交換会、地域見守り事業所研修会）

【評価、今後の方向性】

- ・利用人数は前年に比べ延利用者数 21%、入浴利用者 19%、団体利用者は 35%それぞれ増加になりました。
- ・総合相談窓口として、また地域福祉活動支援としての窓口対応など職員がそれぞれの立場の中で研修と情報共有に努めました。その結果 CSW や常勤職員が不在な時も断ることな

くつなく意識で対応し、わからないことはお互いに学ぶ姿勢が生まれてきました。支部分会活動等に係る対応は、休日、夜間に増えてきています。今後も研修を重ね窓口対応を充実し、相談窓口としてスキルアップを目指します。

・定期的な居場所開催を通じてつながりと集いの場作りに取り組みました。若い世代の利用者を増やすことが目的でしたが利用者が少ないことが課題です。解決のための検討を行い、若い世代の利用増に取り組みます。

・令和7年からの相談支援体制とセンター機能充実に向けて市、地域福祉推進センター、他ふれあいセンター等と、また施設内にて打合せや準備を行いました。今後は実践の中で地域の声を聴きながら地域福祉推進にむけて一つずつ、具体的に取り組みます。

2 すみれ食堂（主財源：会費、事業収入）

－事業概要－

- 利用者に昼食を提供します。また、団体利用者の予約を受けて昼食を提供します。

【 目 標 】

- 1 安全で利用者に喜ばれる食堂経営を実施します。
- 2 利用者に憩いの場を提供し、交流を促進します。

【利用状況】

（単位：食、円）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
食 数	6,032	6,768	7,203
売 上	3,823,515	3,968,400	4,363,365

★目標達成率：食数 106.4%、売上 114.1% 前年度比：食数 19%増、売上 14%増

【評価、今後の方向性】

・親子連れの方や高齢ご夫婦、ご近所のお仲間での利用など新しい利用者の方が増えて、開店前に行列ができることがあります。今後は食堂利用をきっかけにふれあいセンターを知っていただき、センターの利用と理解につながるよう取り組みます。またお菓子等就労支援事業所製品の売り上げが順調で、入荷を待つ方が増えました。

・食堂営業時間外に居場所としてのスペース利用に取り組んできました。今後は居場所の開催日以外の日、学生や一般の方の学習（作業）スペースとして開放することを検討し、実施します。

(V) ふれあいセンター東部 (主財源：市指定管理料)

一事業概要一

- 東部圏域（大門・塩尻東・北小野地区）の地域福祉活動の拠点施設として、子どもから高齢者まで幅広い年代層に広くふれあいの場を提供し、交流を促進します。

【 目 標 】

- 1 ふれあいの場を提供し、交流を促進します。
- 2 地域福祉活動の拠点施設として市民の活動を支援し、福祉の総合相談窓口として市民を支援します。
- 3 幅広い世代の利用者に対し、健康的な生活習慣の定着を支援します。
- 4 住民同士の支え合いを支援します。

【利用状況】

- ・開所日数：304日
 - ・登録者数：1,256人
 - ・延利用者数：22,870人（1日75.2人）
- (単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	22,014	20,500	22,870

延利用人数	団体	個人	介護予防講座	地区講座	からだづく り運動教室	その他 講座	合計
令和6年度	2,555	17,480	443	534	1,267	591	22,870
令和5年度	3,702	15,950	332	439	1,350	241	22,014
増減	▲1,147	1,530	111	95	▲83	350	856

★目標達成率：112% 延利用者数 前年度比4%増

【事業実施状況】

1 利用者の福祉の増進

(1) 講座の開催

- ・地区講座（生きがい講座）3地区 12回 534人
- ・介護予防講座の開催 2講座 12回 443人

(2) 福祉関係団体に会場を提供 47団体 267回

(3) 送迎バスの運行 70回 1,188人

(4) 利用者懇談会 1回 9人

(5) ふれフェス（ふれあいセンターフェスティバル） 1回 202人

(3 ふれあいセンター共催事業)

(6) カラオケDE交流会 10回 130人

(7) お楽しみ入浴「季節のお風呂」（菖蒲、ラベンダー、ハーブ、リンゴ）10回

(8) 就労支援事業所とのマルシェ 71回

(9) 職員研修の実施

27回

・障がい者の特性と個別ケースの対応・重層的支援体制・重層的支援体制整備事業人材育成、従事者・決算出前・防災計画役割説明・緊急時避難経路誘導訓練・防災力アップ講座・東保育園合同防災訓練・避難所立ち上げ訓練・法人内防災訓練・交通安全運転管理者講習・交通安全運転・地域共生社会・コミュニティソーシャルワーカー研修・見守り活動・移動支援学習会の視察 社協ブロック・キャリアパス・ゆるつな講座・生活支援コーディネーター、社会福祉トップセミナー・キャラバンメイト・健康管理・感染症予防・救急法 AED 講習

2 東部圏域の地域福祉活動の推進・ネットワークの構築

(1) 総合相談事業 延 5,309 件 (単位：件)

相談区分	福祉	ボランティア	有償サービス	福祉教育	地域支援	介護	健康
件数	875	9	100	59	87	3	4,176

(単位：件)

相談形式	来所	電話	訪問	会議
件数	4,454	599	159	97

地域福祉推進員と相談員が地域生活課題を総合的に受け止め、地域福祉推進センター、ふれあいセンター洗馬・広丘、市、民生児童委員、関係団体、企業と連携して個別支援・地域支援を行い、地域課題の解決の支援をしました。

(2) 相談体制の整備

- ・地域福祉推進員等連絡会議 12回
- ・地域包括ケア推進会議 1回
- ・生活支援コーディネーター、包括支援センター打合せ 3回
- ・全世代対応型支援体制検討チーム事務局会議 12回
- ・介護保険課、中央包括支援センター打合せ 1回
- ・不登校支援に関する情報交換会 1回
- ・生活といのちを守る会 1回

(3) 東部圏域地域福祉ネットワークの構築

- ・民生児童委員協議会地区会への参加 8回
- ・民生児童委員協議会総会研修 1回
- ・市民ワークショップ 1回
- ・圏域間の情報共有、連携強化 5回
- 生活支援コーディネーター会議 3回 東部圏域個別支援会議 2回

(4) 有償福祉サービス事業の実施

- ・生活支援サービスの提供 45回
- ・有償サービス事業打合せ会議 12回

- (5) 東部圏域の地域福祉活動講座の開催・公民館事業への協力 15回
 ・認知症学習会・農業婚活・サマースクール・こども広場・他文化交流親子韓国料理講座・筋力UP講座・介護予防講座・認知症サポーター養成講座・子供の居場所づくり
- (6) 地域支え合い支援
 ・交通課題解決チーム会議 12回
 ・移動支援学習会 1回(改)
 ・ちょこっと健康トレーニング教室 5回(新)
- (7) 社協支部・分会等との連携
 ・支部総会3回 ・支部懇談会3回 ・峰原2回 ・大門3、4番町1回
 ・松原1回
- (8) 住民福祉活動の支援
 ・子ども食堂15回 ・子育てサロン2回 ・ラジオ体操5回 ・おさがり服会3回
 ・みたけカフェ1回・ふれあいサポーター活動の支援6回・ふれあいサポーター養成講座1回
- (9) 福祉学習の推進
 ・相談 20回 ・支援 15回 ・啓発活動 4回
 (塩尻東小学校、塩尻西小学校、塩尻中学校、両小野中学校)
 ・福祉教育担当者支援会議 1回
- (10) 災害対策事業
 ・防災講座 1回 14人

3 世代間交流の推進

- (1) 季節の教室(蜂の子上映会・しめ縄づくり・ひな人形づくり) 3回 83人

4 健康づくり活動の推進

- (1) 生活習慣健康講座
 ① 運動指導を重視した講座
 ・トレーニングマシンを利用した運動 2期×2コース 94回 延775人
 ・フィットネス 6教室 36回 延488人
 ・からだづくりステップアップ教室 2回 39人
 ②お口の健康講座 1回 22人
- (2) 健康づくりリーダー研修 2回 29人
 (3) 健康づくりリーダー活動 2回 17人
 (4) 出張型講座の開催 12回 116人

(5) 家族で運動教室	2回	40人
(6) ふれあい健康フェスタ	1回	164人(新)

【評価、今後の方向性】

- ・利用者数は昨年度比4%増となりました。
- ・入浴、健康ホールの利用者が増えました。講座、イベント、SNS等で周知し若年層の利用が20代から50代で17%増、60代から70代は27%増でした。アンケートなどでニーズ調査して、利用しやすく楽しい施設を心掛けていきます。
- ・総合相談窓口はボランティア保険、補助金、募金の受付を行い、元気づくりの相談も身近でできて良いと好評です。地域福祉推進員、相談員が地域の困りごと等相談内容を共有し関係機関につなげ、見守りの継続を行いました。センター職員は気になる方への声かけをして相談を受ける意識付けが行えました。
- ・支部分会支援は、地区懇談会グループワークから、分会ごと状況が違うことが分かり、分会の役割状況、補助金について分会別に聞き取りを行っています。来年度6月までに聞き取りを終え、分会の希望日に分会の役割説明を行います。
- ・公民館と連携することで、地域の課題が共有でき、講座内容が重ならず、有意義な講座の開催ができました。講座受講者から相談を受け関係機関につなげることもできました。
- ・健康づくりの推進として自主グループ立ち上げ相談、支援を行い、2グループが立ち上がり順調に活動しています。介護保険課と連携して介護認定が出ずデイケアのサービスが使えない方に対して、対話と軽体操ができる講座「ちょこっと健康トレーニング教室」が好評でした。相談場所、居場所として月1回の支援を行います。
- ・職員研修として福祉避難所立ち上げ訓練を行い、作成した様式を使用して、避難者の受入れ、部屋準備、割ふりを行いました。実際行くと分からない事があり、様式を修正し、避難者への対応研修後、地域住民に参加協力をしていただき訓練を行っていきます。

Ⅲ 福祉事業グループ

(I) 訪問ケアセンター

1 ホームヘルパーステーション社協ふれあい

(主財源：介護保険収入、障害福祉サービス収入)

－事業概要－

- 要介護・要支援の認定を受けた人や障がいのある人、訪問サービスが必要な方の家に訪問し、家事の援助・身体介護・生活上必要な活動の援助等を行います。

【 目 標 】

- 1 利用者の意向を尊重し、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう在宅生活を支援します。
- 2 他事業所と連携して利用者、地域に必要なサービスを提供します。
- 3 訪問介護員の質を高め、多様なニーズに対応できる力を身につけます。

【利用状況】

訪問介護（介護保険）

・開所日数：365日 ・3月実利用者数：149人・延利用者数：20,374人（1日55.8人）
(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	20,114	19,700	20,374

(単位：人)

介護度別 延利用者数	総合事業		要介護 1	要介護2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
	サービスA	独自サービス						
令和6年度	266	6,077	2,317	3,630	3,254	2,687	2,143	20,374
令和5年度	362	6,133	2,719	3,359	3,177	2,153	2,211	20,114
増減	△96	△56	△402	271	77	534	△68	260

★目標達成率： 103.4 %

居宅介護等(障害福祉サービス)

・開所日数：365日 ・3月実利用者数：72人 ・延利用者数：7,086人（1日19.4人）
(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	7,390	6,800	7,086

(単位：人)

区分別延利用者数	居宅介護	行動援護	同行援護	移動支援	合計
令和6年度	5,773	64	532	717	7,086
令和5年度	6,041	102	471	776	7,390
増減	△268	△38	61	△59	△304

★目標達成率：104%

有償サービス（制度外サービス）

・開所日数：365日 ・3月実利用者数：2人 ・延利用者数：49人（1日0.1人）
（単位：人）

区分	R5年度実績	R5年度目標	R6年度実績
延利用者数	78	70	49

★目標達成率：70%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 福祉に関わる人材の確保・育成

- ・初任者研修実習生受入れ 松本大学 2人 志学館高校 5人
実習受入れ時にはヘルパーの魅力を伝えることができるように努めました。
- ・福祉人材の不足状況改善のために、様々な機会を捉え訪問介護の現状・魅力について説明し、よりよい職場環境づくりに努め、新たに5人の採用ができました。引き続き引き続き福祉人材の確保に努めます。

2 災害時の業務継続の研究と啓発及び働きかけ

- ・大規模災害時の対応について、ヘルパー全体で研修会を行うとともに、BCPの確認、情報伝達訓練を行いました。
- ・大規模災害時の備えについて利用者アンケートを行い実態把握に努めました。引き続き食料備蓄、避難場所の確認などの備えを働きかけていきます。

3 2040年を見据えたホームヘルパー事業の検討

- ・持続可能なホームヘルパー事業とするために課題を洗い出し課題可決のために業務改善策を検討しました。課題の一つである当日キャンセルが多い状況を改善するため、プランの見直し等の対策をお願いしました。引き続き検討を行い業務改善を進めます。

2 訪問入浴ステーション社協ふれあい

(主財源：介護保険収入、障害者訪問入浴受託金収入)

－事業概要－

- 自宅での入浴が困難な人に、浴槽等を運び込み、入浴介助を行います。

【 目 標 】

- 1 在宅生活での清潔保持と家族の負担軽減を図ります。
- 2 利用者・家族の満足度向上を図ります。
- 3 職員の質、チームワークを向上し、業務の安全と効率化を図ります。

【利用状況】

・開所日数：256日 ・3月実利用者数：27人 ・延利用者数：1,412人（1日5.5人）
(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	1,296	1,380	1,412

(単位：人)

介護度別 延利用者数	要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	障が い	合計
令和6年度	0	30	73	147	107	175	595	284	1,412
令和5年度	0	11	158	16	171	257	401	282	1,296
増減	0	19	△85	131	△64	△85	194	2	116

★目標達成率：109%（現段階で認定下りておらず、介護度別の延利用者数1足りていない。合計は含んだものになっている）

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 利用者拡大

- ・新規利用者34人（昨年27人/年）で、短期間利用の方が多かった。職員の拡充により週2回の2台稼働が1度実現したが、利用者の終了により元に戻る。
効率の良い訪問体制を整えることで、週2回の2台稼働を目指していきます。

2 職員研修の実施（拡）

- ・定例会に合わせて研修を行った。（12回）職員が業務改善を意識することで新しい利用者様に関わるときでもお互いに不安のない形が昨年度からできている。
職員のスキルアップと同時に、新職員が加入しても不安が軽減できる業務を検討していきます。

3 2040年を見据えた訪問入浴事業の検討（新）

- ・オペレーター1名、看護師1名（予定）の職員拡充ができた。先を見据えると引き続き福祉人材不足の対策継続は必要になる。
現在の体制を見直し、職員不足以外の問題を精査していく中で、働きやすい環境を作っていきます。

3 訪問看護ステーション社協・ふれあい

(主財源：介護保険収入、医療保険収入)

－事業概要－

- 医療処置・療養生活の支援・心身の機能の維持回復を目的に、医師の指示を受けて看護師及び理学療法士が定期的に訪問を行います。

【 目 標 】

- 1 在宅での療養生活を支援します。
- 2 地域密着の事業所として人材育成を行います。
- 3 看護の知識・技術の向上を図り、利用者ニーズに合わせたケアを行います。

【利用状況】

- ・開所日数：243日
 - ・3月実利用者数：89人
 - ・延利用者数：560人（1日6.2人）
- (単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	6,248	6,192	6,202

(単位：人)

介護度別 延利用者	要支 援 1	要支 援 2	要介 護 1	要介 護 2	要介 護 3	要介 護 4	要介 護 5	医療	合計
令和6年度	121	1,617	543	1,335	290	376	992	928	6,202
令和5年度	140	1,484	501	1,005	373	435	1,071	1,239	6,248
増減	△19	133	42	330	△83	△59	△79	△311	△46

★目標達成率：100%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 利用者のニーズに合わせたリハビリの実施

- ・10月まで理学療法士2人体制で、在宅生活で機能維持ができるよう、利用者のニーズに合わせた機能訓練を実施するとともに、3箇所の日サービスに理学療法士が出向きプログラム作成やリハビリの実施、居宅訪問などを行いました。
- ・新規利用者の訪問や緊急時訪問はタブレットを活用して行けるよう、情報入力を充実させ訪問する事ができた。
- ・体制強化加算のI(半年間で看取り5人以上)が再度獲得できた。(6月から)

2 職員研修の実施

- ・計画的に看護協会の研修やまつもと医療センターの研修に出席した。ステーション会議の伝達講習でスタッフ間の専門的知識を向上する事ができた。
- ・精神疾患の利用者・ターミナルの利用者からの訪問依頼は継続しており医療度の高い利用者への技術・知識提供ができるよう研鑽を積んだ。

(Ⅱ) すがのの郷

1 老人デイサービスセンター（主財源：介護保険収入）

－事業概要－

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、機能訓練を行います。

【 目 標 】

- 1 利用者の健康・介護状況を把握し、その人に適したサービスを提供します。
- 2 利用者の希望、趣味や特技を生かしたレクリエーションの実施に加え、生活機能の改善に向けて取り組みます。
- 3 地域福祉を推進する施設として、地域の課題発見に努め、家族や地域との関わりの中で地域全体の課題として捉え、課題解決を図ります。

【利用状況】 定員 25 人

・開所日数：359 日 ・3 月実利用者数：73 人 ・延利用者数：7,154 人（1 日 19.9 人）
（単位：人）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	6,406	6,031	7,154

（単位：人）

介護度別 延利用者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	総合 事業	合計
令和 6 年度	1,344	1,172	1,064	1,500	90	1,984	7,154
令和 5 年度	1,084	1,970	1,019	996	142	1,195	6,406
増減	260	△798	45	504	△52	789	748

★目標達成率：118% 新規 32 件 中止 28 件

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 地域生活を支えるデイサービス事業の実施

職員研修 「BCP について」 1 回 「避難所運営について」 1 回
職員訓練 「職員緊急連絡体制訓練」 1 回 「福祉避難所立上げ訓練」 1 回
地域への防災情報の提供 2 回

・BCP については、5 月に読み合わせを行い、9 月に「緊急連絡体制訓練」を行いました。研修や訓練を行い、BCP の内容検討を継続的に行っていきます。

福祉避難所については、10 月に避難所運営マニュアルの読み合わせを行い、1 月に職員、塩尻市役所危機管理課・地域共生課職員、地域の方が参加して福祉避難所立上げ訓練を行いました。有事の時には、迅速に対応できるように訓練を継続的に行っていきます。

2 身体機能の維持・向上に資するプログラムの提供

個別機能訓練加算 延 1,469 人

口腔機能向上加算 要介護 延 823 人 総合事業 延 192 人 計 1,015 人

職員研修 「ADL 評価について」 「口腔ケアについて」

・ADL 維持等加算取得を目指し、研修を行い、4月と10月の評価結果から、令和7年度4月から加算取得となりました。デイサービスをご利用いただくことで、身体機能の維持・向上を図ることができるよう、職員が意識した支援や、レクリエーションのプログラム内容を工夫して取り組んでいきます。

3 介護相談・介護情報の提供

介護者交流会 2回

元気づくり広場等への参加 3回 内容：介護予防体操・レクリエーション

地域への介護情報の提供 2回

・介護者交流会を2回行い、介護者の日ごろの思いを参加者で共有しました。少人数での参加の良さもありますが、より多くの介護者の方に参加いただけるよう内容等の検討を行っていきます。

地域での元気づくり広場等への参加や、地域での回覧文書に介護情報を掲載することで、地域の方にすがのの郷を知っていただくとともに、日ごろから介護予防に取り組んでいただけるようにしました。今後も地域へ出向く活動を続けていきます。

4 広報活動の充実

すがのの郷だより 12回配布

インスタグラムやホームページでの配信 47回

・すがのの郷便りに介護情報を掲載したことで、「受診のきっかけになった」「自宅での介護方法の参考にした」等の声をいただきました。

インスタグラムやホームページでは、日ごろのデイサービスの様子が分かるよう、ご利用者と一緒に作成した季節感のある壁飾り等を随時配信しました。

今後も施設を知っていただけるよう、内容に工夫をこらし最新の情報が掲載できるよう配信を続けていきます。

2 西部地域包括支援センター (主財源：市委託料)

―事業概要―

- 介護・医療・保健・福祉などの包括的な総合相談・支援・啓発
- 要支援者（総合事業による事業対象者を含む）へのケアマネジメント

【 目 標 】

- 1 地域包括ケアシステムの拠点として、高齢者をはじめ地域で暮らす皆さんの暮らしのサポートをします。
- 2 西部圏域の最も身近で何でも相談できる窓口となります。
- 3 地域の意見を幅広くお聞きすることで、地域課題を把握し、地域と連携してネットワークを構築することで課題解決を目指します。

【利用状況】

・開所日数：243日・3月実利用者数：343人・延利用者数：16.8人（1日人）

(単位：人)

区分		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	増減
総合事業	直営	1,236	912	1,287	51
	委託	255	228	280	25
	計	1,491	1,140	1,567	76
介護予防支援	直営	1,143	864	1,280	137
	委託	1,335	1,356	1,239	△96
	計	2,478	2,220	2,519	41
合計		3,969	3,360	4,086	117

★目標達成率：121.6%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 総合相談支援業務

総合相談件数 679件

・身近な相談機関として西部地域包括支援センターを知っていただけるよう各地域へのチラシ回覧を継続的に行っています。その効果があつてか、電話相談だけでなく来所での相談も増えています。

相談については3職種の専門性を生かし、また、ふれあいセンター洗馬CSWとも連携しながら、課題解決のために必要なサービスへつなげています。今後も他機関と連携しながら解決に向けて対応していきます。

2 認知症総合支援事業

オレンジカフェへの参加 8回

櫛の実 オレンジカフェ 4回

チームオレンジ準備会（宗賀地区・洗馬地区・檜川地区） 3回

・檜川地区で「檜の実オレンジカフェ」を開催しました。認知症になっても住み慣れた地域で見守られながら生活できるよう、圏域全地区でチームオレンジ準備会を開催し、日ごろの活動等の情報を共有しました。今後も啓発活動を続け、認知症の方に寄り添った支援ができるよう地域の方とともに取り組みます。

3 高齢者を地域で支える取り組み

民生児童委員協議会地区会・関係機関会議参加 23回

交通課題解決プロジェクト 定例会議参加 21回

檜川地区配食ボランティア 講話・同行 3回

・民生児童委員協議会への定期的な参加や、檜川地区配食ボランティア会への講話や同行により、顔の見える関係を築き、地域課題を共有してきました。安心して住み続けることができる地域となるよう、現状を把握し、関係機関や地域の方と連携しながら取り組んでいきます。

4 介護・福祉の広報・啓発

西部圏域チラシ回覧 8回

高齢者生きがい講座・元気づくり広場・楽老会 参加 15回

住民向け講座「リビングウィルについて」 1回

・地域への定期的なチラシ回覧や、西部圏域での講座に参加することにより、施設を知っていただき、介護や福祉に関する啓発を行ってきました。

12月には洗馬公民館やふれあいセンター洗馬と共催で「リビングウィルについて」の講座を開き、地域の医師にお話を伺いました。

地域の方に介護や福祉の理解を深めていただくとともに、役立つ情報を提供できるようチラシ内容の検討や、住民向けの講座開催を今後も行っていきます。

5 地域交流スペースの提供

檜の実開所日数 235日 来所者数 218人

すがのの郷昼市 1回

・檜の実を相談の場だけでなく、地域の方の交流の場としてもご利用いただけるよう、檜川図書館のご協力をいただき紙芝居の日や、地域の方によるパッチワークの日などを設けました。

すがのの郷昼市を開催し、近隣施設の方にも周知したことで、多くの方に来所していただきました。今後も、すがのの郷や檜の実を地域交流スペースとしてご利用いただけるよう取り組みます。

(Ⅲ) 田川の郷

1 老人福祉センター（主財源：市補助金）

－事業概要－

- 地域の福祉活動拠点施設として関わりを深め、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの場を提供します。

【 目 標 】

- 1 田川の郷を拠点にした地域づくりを展開します。
- 2 令和7年度からの施設の活用について方向性を定めます。

【利用状況】

・開所日数：167日 ・3月実利用者数：56人 ・延利用者数：6,029人（1日36.1人）
（単位：人）

区分	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
延利用者数	8,268	8,850	6,029

（単位：人）

延利用者数	団体	個人	講座	合計
令和6年度	332	5,697	0	6,029
令和5年度	64	8,204	0	8,268
増減	268	△2,507	0	△2,239

★目標達成率：68.1%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 出合い・学びのプラットフォームの構築

(1) 多分野・多世代がつながるまちづくり

「花火大会（夏祭り）」「田川の郷あったかまつり」の開催により、多世代がつながる機会を作りました。

(2) 社会参加、個別支援への取り組み

田川の郷において子育てサロンを初開催しました。今後も継続的に実施していきます。

(3) 不登校児童への居場所の提供

市学校教育課と連携し、施設を知ってもらうためのイベントを実施しました。

2 老人デイサービスセンター（主財源：介護保険収入）

－事業概要－

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、口腔ケアや機能訓練を行います。

【 目 標 】

- 1 住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、質の高いサービスを提供します。
- 2 社会的孤立の解消や介護する家族の負担を軽減しながら、在宅生活を支えます。
- 3 地域生活課題の解決に向けた取り組みを実施し、地域共生社会の実現を目指します。

【利用状況】 定員 25 人

- ・開所日数：360 日 ・3 月実利用者数：80 人 ・延利用者数：6,547 人（1 日 18.2 人）
（単位：人）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	5,365	5,564	6,547

（単位：人）

介護度別 延利用者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	総合 事業	合計
令和 6 年度	1,761	1,239	1,134	533	403	1,477	6,547
令和 5 年度	727	1,460	647	689	554	1,288	5,365
増減	1,034	△221	487	△156	△151	189	1,182

★目標達成率：117.7%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 利用者満足度の向上

（1）個人を尊重した取り組み

利用者個人の特技や生活歴に着目した選択メニューを提供しました。
また、個々のニーズに合わせた過ごした方を提案、実施しました。

（2）IT 化によるサービスの質の向上

Wi-Fi 設置によりインターネット環境を整備し、運動やレクリエーションメニューを充実しました。

（3）介護者交流会の実施

介護負担軽減を図ることを目的に、外部講師を招き、オムツ等の適切な選び方をテーマに講習会を実施しました。

2 経営改善に関する取り組み

(1) 現状分析と収支改善への取り組み

収支改善のための現状分析を行いました。これを基に数値目標を設定し、経営に対する職員の意識づけを行いました。

(2) 事業所のブランド化

手作りの昼食提供、各種イベントの実施を通し「特別感、非日常」を感じていただき、事業所のブランド化を図りました。ケアマネジャーに実施したアンケート結果では、「イベントが充実している」と評価をいただいています。

(3) 情報発信力の強化

SNSによる情報発信を行いました。また、ケアマネジャーへの訪問回数を意図的に増やし、信頼関係の構築を図りました。

3 田川の郷を拠点にした地域づくり

(1) 交通課題への取り組み

日中の空き車両を活用した買い物支援を実施しました。

(2) 福祉人材の育成、福祉教育の実施

丘中学校や田川高校とのつながりを作り、学生のボランティアを定期的に受入れ始めました。受入れを通し、福祉や介護の魅力を伝えています。

(3) ボランティアの受入れ

ボランティアの受入れを通し、やりがいや生きがいを後押ししました。

(IV) みどりの郷

1 老人デイサービスセンター（主財源：介護保険収入）

－事業概要－

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、機能訓練を行います。

【 目 標 】

- 1 利用者の要望に沿った、個々のニーズに合わせた介護サービスを提供します。
- 2 地域住民との交流の機会をもち、心の活性化を目指します。
- 3 機能訓練及び口腔ケアの実施により、利用者の身体機能の維持・向上を目指します。

【利用状況】 定員 25 人

- ・開所日数：359 日
- ・3 月実利用者数：70 人
- ・延利用者数：7,118 人（1 日 19.8 人）

(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	6,642	6,282	7,118

(単位：人)

介護度別 延利用者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	総合 事業	合計
令和 6 年度	1,645	1,957	1,047	796	362	1,311	7,118
令和 5 年度	1,256	1,709	629	1,120	458	1,470	6,642
増減	389	248	418	△324	△96	△159	476

★目標達成率：113%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 介護相談（改）

介護者交流会 (2 回)

オープンみどり開催（期間 1 週間：2 回）

- ・在宅介護の経験を聞きながら、ご家族の不安や悩みを参加者で共有する機会となりました。また、口腔ケアの疑似体験を通して、身体の仕組みを理解し、介護される側の立場に立った介助の方法を学びあいました。介護ショップにもご協力いただき、介護用品についてのアドバイスを受け、介護負担軽減に繋げることができました。

- ・オープンみどりでは、ご家族、ケアマネ事業所に来所いただき、普段と変わらない日課の中でご利用されている様子をご覧いただくことができました。現在、デイサービス利用を検討中の方にもデイサービスを知って頂く機会となりました。ご家族や地域の方に、事業所を身近に感じていただけるように働きかけ、介護相談がしやすい関係性を目指して取り組みます。

2 身体機能の維持・重度化防止に資するプログラムの提供（改）

個別機能訓練加算 要介護 延 2,717 人
 口腔機能向上加算 要介護 延 1,116 人、総合事業 延 156 人 計 1,272 人

- ・個別機能訓練をグループで行うことで、利用者同士が刺激を受けながら、意欲的に取り組める環境へと定着してきました。

また、口腔機能の向上については、職員研修や歯科衛生士さんとの連携を通して職員の『口腔ケア』に対する意識が高まり、ケアを継続する事で、利用者への意識づけとなっています。

3 ボランティア・実習生の受入れ及び地域交流事業

東地区ボランティア 12回 24人
 郷原地区ボランティア クリスマスプレゼント・雑巾寄付
 個人ボランティア 延 177人
 芸能ボランティア 20団体 135人
 松本歯科大学衛生学院実習生受入れ 延 25人
 広陵中学校交流会 1回 16人

- ・地区、個人、芸能ボランティアの方々の活動により、利用者の方に、楽しい時間と交流の場を提供する事ができました。
- ・ボランティアの活動目的は異なりますが、活動をされる皆さんがそれぞれの力を発揮でき、輝ける場の提供となるように、受入れを行っていきます。

4 職員研修の実施（改）

職員研修 12回

「BCPについて」「口腔ケアについて」「虐待・身体拘束について」

「介護技術」「重層的支援事業について」「感染症対策について」等。

- ・介護技術向上のための研修会を重ね、より身近な利用者や場面を想定し、専門的知識の習得やサービスの質の向上に努めました。

また、利用者を取り巻く環境から、地域課題にも目を向けていく意識づけを行い、課題解決に向けて関係機関との連携の取り方を学びました。今後も、多職種との情報共有を図りながら、課題解決に向けて取り組みます

(V) つくしの郷

1 老人デイサービスセンター（認知症対応型）（主財源：介護保険収入）

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、機能訓練を行います。
- 宿泊サービスを行います。

【 目 標 】

- 1 認知症を抱える人やそのご家族が、地域で安心して暮らすことができる支えとなるために、安心・安定した経営を実施します。
- 2 利用者一人ひとりの理解を深め、ニーズに沿ったサービスを提供し、その人らしく在宅生活を送ることができるよう支援します。

【利用状況】

- ・開所日数：360日 ・3月実利用者数：30人
- ・延利用者数：3,288人（1日 9.1人）

（単位：人）

区分		R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	介護保険	3,479	3,340	3,288
	宿泊	352	300	365

（単位：人）

介護度別 延利用者数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	未定	合計	宿泊
令和6年度	41	12	976	817	483	361	580	18	3,288	365
令和5年度	0	0	1,113	814	408	331	813	0	3,479	352
増減	41	12	△137	3	75	30	△233	18	△191	13

★目標達成率：介護保険 98.4% 宿泊 121.7%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 機能訓練・口腔機能の実施

機能訓練	延	3,293回
歯科医	来所	6回
歯科衛生士	来所	61回
口腔機能	延	474回
舌圧測定		20回（年4回実施）

- ・機能訓練については、指先を使い季節に合わせた壁画の制作や、本を見ながら回想法に取り組みました。
レクリエーション研修で、脳への刺激や仲間づくりに繋がることを学び、身体を動かす機会を多く作りました
- ・口腔機能については、歯科医、歯科衛生士と連携をとり、利用者が安全に安心した環境の中で歯科治療を受けられる体制を作りました

2 ボランティア・実習生の受入れ

個人ボランティア	延	83人
よみきかせ（えんパーク職員）	延	12人
歌唱ボランティア		3人
松本看護大学（看護師）	延	12人
ステップアップ講座受講生		18人

- ・個人ボランティアさんが定期的に来ていただけるようになり、また懐かしい紙芝居や童謡を聞かせていただくことで、楽しい交流の時間となりました。今後も地域の方々と交流をしていきます。
- ・年齢や職種が異なる方達を受入れ、認知症を身近に感じていただける機会を提供していきます

3 つくしの郷広報紙「つくしの郷からこんにちは」の発行 [12回]

つくしの郷おたより 12回発行

- ・利用中のご利用者の様子や日常的な支援の方法を分かりやすく写真と説明を付けて発行することができました。ご家族のご意見を反映させながら、お便りを校正していきます。

4 研修の実施

(1) 内部研修

レクリエーション研修	15人
介護研修（介護福祉士）	11人
救急法研修（他施設合同）	40人

(2) 外部研修

認知症介護基礎研修フォローアップ研修	1人
虐待防止研修	2人
「パーソンセンタードケア」研修	19人

- ・研修を通して職員のスキルアップと利用者への支援向上を目指します。

2 認知症対策推進（主財源：市受託金）

―事業概要―

- 認知症高齢者を在宅で介護している家族に代わり、見守りや話し相手になる「やすらぎ支援員」を派遣します。
- 認知症サポーター養成講座等の開催

【 目 標 】

1 地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人が地域で安心して暮らしていくことができるよう支援をします。

1 やすらぎ支援員の派遣

派遣回数 150回

登録者数 2人（3月実利用者）

介護者の精神的負担の軽減・ご本人と地域の方との繋がりを支援していきます。

2 認知症の啓発、人材育成

認知症サポーター養成講座	実施回数	6回
	参加者数	115人

認知症ステップアップ講座	実施回数	2回
	参加者数	18人

幅広い世代の方達に認知症を理解していただけるよう努めていきます。

(VI) 居宅介護支援事業所社協ふれあい

1 居宅介護支援事業所 (主財源：介護保険収入)

－事業概要－

- 在宅で介護の必要な方が、適切な介護サービスを利用できるよう介護支援専門員（ケアマネジャー）が、ご本人、ご家族のご希望を伺いながら「ケアプラン」を作成します。
- 介護や福祉の総合相談や地域への啓発活動を行います。

【 目 標 】

- 1 利用者・家族の意向を尊重し、自己実現・自立支援の視点を大切に、在宅生活が継続できるように支援します。
- 2 多種多様な相談・ニーズを踏まえた質の高いケアマネジメントを提供できるように、自己研鑽に努めます
- 3 様々な支援機関、多職種等との協力連携を図ります。

【利用状況】

・開所日数：242日 ・実利用者数：297人 ・延利用者数：3,555人（1日14.7人）
 (単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
介護	2,219	2,244	2,171
要支援(市受託)	1,323	1,248	1,384
合 計	3,542	3,492	3,555

(単位：人)

介護度別 延利用者数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和6年度	448	936	691	679	335	269	197	3,555
令和5年度	484	839	639	732	424	223	201	3,542
増減	△36	97	52	△53	△89	46	△4	13

★目標達成率：100.3%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 居宅介護支援事業所の質の向上

(1) 会議の実施 会議 52回

(2) 研修の実施

事業所内研修の実施 18回

地域包括支援センターが主催する介護支援専門員勉強会に参加 10回

地域包括支援センターや他法人と協働で開催する事例検討会に参加 6回
・介護支援専門員として、スキル向上させることで、ご利用者、ご家族に対して的確な居宅介護支援を提供し、信頼の構築、向上を図っています。

2 介護・福祉の相談、啓発活動

檜川出張所（檜の実）、福祉相談 13回

ケアマネジャーだよりの発行 12回

ホームページへの掲載 12回更新

・関係機関との連携を密にして安心して任せいただける事業所作りを行い、医療機関や地域包括支援センター、介護サービス事業所等から信頼を得ることで、新規利用者の獲得につなげていきます。

3 多職種との連携強化

入院時連携 56件 退院、退所連携 29件 通院時情報連携 12件

予防委託連携 33件 法人内サービス事業所連絡会議 12回

・入退院時に病院へ訪問し、在宅復帰時にスムーズに移行できるように病院の担当者と情報交換を行い調整しています。
・主治医と支援内容や支援の方法について相談し意見を求め、必要時には受診の際に同行し、必要な情報を提供しています。

4 居宅介護支援事業所の評価

・利用者、家族から相談対応、計画作成等について、各サービス事業所から情報の連携、情報共有等についてアンケート調査を実施。連携方法等頂いた意見について早期に検討し改善できることから対応していきます。

5 災害時の対応についての啓発

災害発生時に優先順位の高い人から安否確認を行う支援体制の確認1回実施。

・平常時から利用者ごとの災害時の課題に向けた対策を検証しながら災害時においても生活が継続できるよう災害への備えについての啓発を行っています。

6 実習生の受入れ

介護支援専門員実務者研修の実習受入

・介護支援専門員実務研修における「ケアマネジメントプロセスの見学実習」2人を受入れ、実習生に指導をすることで業務の再確認を行います。

(Ⅶ) すみれの丘

1 地域活動支援センターすみれの丘 (主財源：市受託金)

—事業概要—

- 障がい者が地域で自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう相談、創作活動や交流事業を行います。

【 目 標 】

- 1 生きがいを感じ、楽しく参加できる講座とします。
- 2 障がい者又はその家族が、気軽に相談できる窓口であると同時に、他機関と連携しながら地域で安心して暮らすことができるよう支援します。

【利用状況】

【講座】

(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	771	800	791

★目標達成率： 98.9%

【障害者相談】

(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	406	400	400

★目標達成率： 100%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 講座の開催

- ・各講座に社協事業所へ通所している利用者以外の利用者増加を目的に、広報しおじりへ講座募集の記事を掲載しました。問い合わせが3名、うち1名の方が利用につながりました。毎回の受講者参加率は90%を超える結果となりました。来年度は、新たに和太鼓が加わるため広報しおじりに講座募集の記事を掲載し参加者を募り継続して参加していただけるような講座にしていきます。

2 生活介護事業所すみれの丘（なずなの家）

（主財源：障害福祉サービス収入）

－事業概要－

- 重度の障がい者が、昼間の一定時間を過ごしていただく中で、日常生活の支援（入浴・食事・排せつ等）を行います。
- 創作的活動等の機会を提供し、身体・生活能力の向上のための支援を行います。

【 目 標 】

- 1 利用者、家族、関係機関と連携、情報共有し、信頼関係を築きます。
- 2 実習や体験利用を積極的に受入れ、必要な方の利用に繋がります。
- 3 個人目標に沿ったサービスを提供し、個々の自信に繋がるよう支援します。

【利用状況】 定員 20 人・開所日数：244 日

・3 月実利用者数：21 人・延利用者数：253 人（1 日 12.6 人）

（単位：人）

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	3,421	3,700	3,347

★目標達成率：90.4%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 健康管理

年3回行い、先生との信頼関係をつくり多くの参加になる。又、毎日の口腔体操に手話を加え、視覚から習慣づけることで色々な障がいの支援につなげることができ、自身で磨く方法を指導することで日々の習慣につなげることができました。

2 創作活動の提供

少人数での創作活動をすることで、集中し一人ひとりが満足できる作品が完成しました。室内や市の文化祭に展示をして、みなさんに見ていただいて次への作品作りの意欲を高めることができました。

3 ご家族等との連携

より良いサービスに繋げるため、ご家族や関係者との意見交換が行える行事を実施しました。また、オープンなずなの日などで、普段の事業所の様子を知っていただくことで信頼と連携を深め、よりよい施設経営を目指しました。

オープンなずなの案内を年に7回配布し、5組のご家族に参加いただきました。

4 災害時に備えた訓練

災害時に、家以外の避難先で過ごすことを想定した宿泊訓練として、7、10月に

宿泊体験を実施しました。10月はつくしの郷で実施し3名が参加。いつもと違う場での宿泊体験は本人たちの自信につながったように感じます。

3 児童発達支援事業所あすなろ園 (主財源：障害福祉サービス収入)

—事業概要—

- 心身の発達の遅れや障がいの心配がある児童の通所を受入れ、支援計画に基づいた支援を行います。

【 目 標 】

- 1 一人ひとりの成長に合わせた支援・相談を行います。
- 2 家族の気持ちに寄り添い、相談できる体制を作ります。
- 3 放課後デイサービスを希望する児童の増加に伴い、受入れできるよう環境と体制づくりを行います。

【利用状況】 定員 10 人 開所日数：243 日

・ 3月実利用者数：46人 児発延 72人・放デイ延 158人（1日 11.5人）

(単位：人)

区 分		R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	児童発達支援	678	923	825
	放課後等デイ	1,486	1,847	1,841
合計		2,164	2,770	2,666

★目標達成率：児童発達 89.5% 放課後等デイ 99.6%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 ことばの教室

- ・ 3月末時点で4月の登録者数48名（ことばの教室：市受託枠22名のところ30名。福祉枠20名のところ18名）で増加している。5月以降は待機になっている。市担当課と対応を協議すると共に、人材確保を進める必要があります。

2 放課後等デイサービスのクラス増設

- ・ 支援級クラスを月曜日から木曜日に開設。支援級クラスでは、自分でできることを引き出しつつグループの中で活躍できる機会を提供し自己肯定感を高めることができた。来年度は金曜日も増設し安心して過ごすことができる環境を整えていきます。
- ・ 来年度は、4月から定員以上の利用が予定されているため、定員変更や事業所増設等を検討していきます。

4 指定相談支援・障害児相談支援（主財源：障害福祉サービス収入）

―事業概要―

- 障がい児者が障害福祉サービスを利用することにより、地域で安心して生活を続けることができるようサービス等利用計画を作成します。
- サービス等利用計画に基づくサービスが適正に提供されるよう関係機関と連携し、支援します。

【 目 標 】

- 1 ニーズを的確に把握し、その人の長所や得意なことをいかし、その人らしい生き方ができるような計画を立てます。
- 2 地域で安心して生活ができるよう他の機関や支援者と連携し、利用者の変化に的確に対応します。

【利用状況】

・開所日数：243日 ・3月実利用者数：59人 ・延利用者数：697人（1日2.9人）

【計画作成・モニタリング】

（単位：人）

区 分	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
延利用者数	682	650	697

★目標達成率：107%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 出前お話し会の実施

- ・10月29日に小学校で（障がいの理解）福祉教育を実施しました。事例を基にした講義やグループワークから障がい理解を深めてもらうことができました。今後も地域福祉推進グループと連携を図りながら福祉教育を進めていきます。

2 職員研修の実施

- ・積極的に研修会に参加をして資質の向上に努めました。また、事業所経営にも目を向け、収益に繋がる研修を受けることができました。

高次脳機能障害支援者養成研修	1名
長野県医療ケア児等支援者養成研修	2名
強度行動障害支援者養成研修「基礎研修」	1名
長野県相談支援従事者専門分野研修「地域移行・地域定着」	1名

5 就労継続支援B型すみれの丘 (主財源：障害福祉サービス収入)

—事業概要—

- 一般就労が困難な障がい者等に、就労や生産活動の機会を提供します。
- 知識及び能力の向上のために必要な訓練や支援等を行います。

【 目 標 】

- 1 一人ひとりの気持ちを受けとめ、特性に合わせた支援を行います。
- 2 働く中で、楽しさややりがいを感じることができるよう支援します。
- 3 障がい者への理解が深まるよう、地域へ出て交流の機会を作ります。

【利用状況】 定員 25 人※令和 7 年度は定員 20 名

・開所日数：243 日・3 月実利用者数：25 人・延利用者数：419 人（1 日 20.9 人）
(単位：人)

区 分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	5,475	6,000	5,053

★目標達成率： 84.2%

【月平均工賃】

(単位：円)

区 分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
1 人当りの支払額	9,366	8,000	13,087

★目標達成率： 163.5 %

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 地域との交流事業

- ・施設まつりをはじめ、地域のお祭り、イベントでの販売にお招きいただき自主製品の販売も増加、地域の方との交流も多くなっている。今後も独自の自主製品の開発により地域との関りを増やしていきます。

2 職員研修等の実施

- ・利用者理解を深めるために、朝夕に職員の申し送りを行い、情報共有を徹底したことで、業務をスムーズに進められている。今後は障がい理解についての事例検討会を実施し多様化していくニーズに対応できる体制づくりを目指します。

(Ⅷ) そよ風の家

1 就労継続支援B型 (主財源：障害福祉サービス収入)

―事業概要―

- 一般就労が困難な障がい者に、就労や生産活動の機会を提供します。
- 知識及び能力の向上のために必要な訓練や支援等を行います。

【 目 標 】

- 1 利用者の思いや希望を大切にし、安心して通所できる環境づくりに努めます。
- 2 作業を通して社会参加を促し、生きがいや達成感を感じることができるよう支援します。
- 3 関係機関との連携を密にし、利用者一人ひとりを中心にした支援を行います。

【利用状況】 定員 20 人

・開所日数：243 日 ・3 月実利用者数：31 人 ・延利用者数：4,176 人（1 日 17.2 人）

(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	4,985	4,880	4,176

★目標達成率：85.6%

【月平均工賃】

(単位：円)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
1 人当りの支払額	15,119	10,000	17,314

★目標達成率：173.1%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 生産活動の実施

施設の清掃業務が週 1 回増え、印刷業務 1 件終了しました。

檜川地区の独居高齢者等宅への配食弁当配達業務を市から受託し、11 月から開始しました。

ふれあいセンター東部に常設の販売コーナーを設置することができたことで、クッキー等の売り上げを伸ばすことができました。

2 他機関との連携

養護学校、障害者総合相談支援センターボイス、相談支援事業所等からの紹介で見学 24 名、体験 8 名を受入れたことにより、2 名の利用契約者に繋がりました。

3 各種行事の開催

夏の収穫祭（カレー会）を実施し、自分たちで農作物を育て、収穫する喜びを実感できる機会を設けました。また少人数のグループ外出（食事、散策等）や冬の収穫祭（豚汁会）、豆まき等を行うことで、職員、通所者が交流をすることができました。

4 地域との交流事業

「すみれ・そよ風まつり」では多くの地域の方に参加していただきました。

地域のお祭りなどでの販売の機会に 30 回出店することができました。

中央公民館主催のサマースクールにご利用者 3 名参加し、小学生等にクッキーづくりの指導、レクリエーションを行うことができました。

5 ボランティア・実習生の受入れ

地域の専門学校で学生 8 名を受入れ、障がい理解を深める機会を設けることができました。

(区) みどりが丘

1 就労継続支援B型 (主財源：障害福祉サービス収入)

―事業概要―

- 一般就労が困難な障がい者に、就労や生産活動の機会を提供します。
- 知識及び能力の向上のために必要な訓練や支援等を行います。

【 目 標 】

- 1 社会との接点である居場所を利用者に提供します。
- 2 利用者の夢と可能性の実現を応援します。

【利用状況】 定員 20 人

- ・開所日数：243 日 ・3 月実利用者数：25 人 ・延利用者数：4,042 人（1 日 16.6 人）
(単位：人)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
延利用者数	4,187	4,465	4,042

★目標達成率：90.5%

【月平均工賃】

(単位：円)

区分	R5 年度実績	R6 年度目標	R6 年度実績
1 人当りの支払額	16,170	11,000	17,511

★目標達成率：106.6%

【事業実施状況、評価、今後の方向性】

1 生産活動の実施

- ・施設外作業では、定期的を受託先へ出掛けることができました。後期には、新たに高齢者等生活支援事業である配食、見守りサービスを市から受託し実施することができました。今後も引き続き継続した利用者の賃金向上を図ります。
- ・施設内作業では、定期的に作業をいただくことができました。また、地元企業様から再開の作業依頼があり信頼される事業所としての自覚を持ち安定した工賃収入を目指します。

2 生活支援

- ・社会生活に必要な体調の管理、時間の管理、日常的なマナー等、日々の通所を通して習慣化できるように支援を行っています。

- ・個別の支援では、必要によって関係機関と連絡を取り情報共有と合わせて連携を取りながら生活の全体像をつかめるよう、支援に活かしています。
- ・生活支援の中でやってみたいことを形にした、のるーと学習会を開催し、実際の生活で利用できた方がいらっしゃいました。
- ・グリーンカフェ（少人数のお話会）では、普段の生活で感じる思いや工夫、人とのコミュニケーションの取り方など、ゆったりとした会話の中にも学びがありました。（全9回）

3 他機関との連携

- ・保護観察所、医療機関、行政等との連携により利用者が安心して通所できる支援体制の構築とその支援に努めました。
- ・松本養護学校高等部2年生、伊那養護学校高等部2年生、見学受入れ 各1名

4 個別支援計画の作成

- ・利用者と面談を行い現状の振り返りをしながら、一緒に個別支援計画を作成しました。それぞれの将来に向けた思いや目標に向け、今後も支援に取り組みます。

5 各種行事の開催

- ・グループに分かれての行事（お花見、ぶどう狩り） 各3回
- ・お出かけしないグルメ（テイクアウトお弁当とかき氷） 4回
- ・季節の行事（おつかれさま会（忘年会）、おしるこ会、冬まつり）
- ・のるーと学習会 1回

6 地域との交流事業

- ・志学館高校美術部員によるガラス絵の制作により、事業所の玄関が華やかになりまた、地域の方々に事業所を知っていただく機会となりました。
- ・地域福祉推進センターと協同で、近隣企業との周辺清掃を行いました。

7 職員研修の実施

- ・全職員に研修の機会を得られるよう研修情報を回覧する等し、研修を活用して職員の資質向上を目指しています。

職場外研修

- ・障がい者就労フォーラム 1名
- ・工賃向上セミナーへの参加 2名
- ・地域共生社会の実現にむけての研修 2名

職場内研修

- ・長野県発達障害情報・支援センター 配信動画研修
- ・障がい者虐待防止研修